

# 読者のページ

建設コンサルタントとして従事して早や36年以上が過ぎ、まもなく完全リタイアする時期となるに及び、後進の皆様が今後とも国内外で活躍される事を祈念し、その参考

## 建設コンサルタントの後進の皆様への遺言

八千代エンジニアリング株式会社/総合事業本部/構造・橋梁部/参与  
堀口隆良 Horiguchi Takayoshi

の為、遺言のつもりでこれまでに脳裏の隅にあった自戒の思いを「コンサルティングエンジニア十訓」として纏めました。更に、建設コンサルタント個人がプロとしての技を発現させるべく、プロジェクトマネジメントの知識エリアと用語を活用した「プロジェクトマネジメントに着眼した業務執行の心得」を示し、具体案とさせて頂きました。

### ● コンサルティングエンジニア十訓 ●

1. 日々の鍛練無くして、真のコンサルティングエンジニアにはなれず。
2. どうしましょうか、は禁句。こうしましょうか、を常に発すべし。知識と智恵と信念で。
3. 高度な技術力を以って顧客の信頼を獲得すべし。技術力=信用力=安心感、である。
4. 最低限必要な資格はRCCMであり、技術士総合技術監理部門は所持して当たり前と思うべし。資格の継続研鑽の証として、CPD蓄積は必須である。
5. 真の顧客(ユーザー)は国民である事を常に考え、100年後のあるべき姿を提案すべし。
6. コンサルティングエンジニアの必需品は、誠実な業務遂行姿勢と倫理観、高い技術力、的確な報・連・相、業務マネジメント力である。
7. 業務マネジメント力は、技術士総合技術監理部門で定義する経済性管理・人的資源管理・情報管理・安全管理・社会環境管理、で監理・発現される。更に、プロジェクトマネジメント手法を身に付けると、効果的である。
8. 己の仕事は己の技術力で獲得すべし。上位職になれば、部下を養うだけ更に獲得すべし。
9. 常に高度な独自技術を探求し、顧客に智恵のある提案を行うべく、己も部下(外注を含む)も教育し続けるべし。
10. コンサルティングエンジニアは、己の作る業務成果において社会に貢献すべし。

### ● プロジェクトマネジメントに着眼した業務執行の心得 ●

#### 1. Scope Management(範囲)

契約内容を的確に把握し、発注者との打ち合わせで更に確認して、早期に業務範囲を明確にすべし。プロボ提案事項は、作業項目から漏らすまじ。

#### 2. Quality Management(品質)

常に工夫を凝らして品質の向上に努め、顧客満足度を高めるべし。外注業者の低品質に支配される愚は避けるべし。こまめな審査・検証を経ずして納品することなかれ。

#### 3. Cost Management(原価)

非生産部隊を養うため、己のかけた人件費以上の粗利益を上げ、生産性の向上に努めるべし。

#### 4. Time Management(工程)

常に先読みして作業工程をリードし、早目の打ち合わせの励行と工期内の納品を目指すべし。打ち合わせの予約は、遅くとも前週末に行なうべし。

#### 5. Risk Management(リスク)

マネジメント力を駆使してリスク回避に努めるべし。期せずして、例えば重大なミスが発生した場合、速やかに謝罪に向き誠意を以って事態を修復し、従前以上の信頼を己の力で回復すべし。

#### 6. Human Resource Management(要員)

必要な人財を必要な時期に投入すべく、社内外の要員を育成すべし。プロとしての職務に必要な資格を有し、継続研鑽者のみ生

き残れると知らしむべし。

#### 7. Procurement Management(調達)

外注では、遅滞なき発注・的確な指示・厳正な受け入れ検査を励行し、高品質と廉価を追及すべし。高原価・納期遅延・低品質を外注先の責任にすべからず。己の責務とわきまえよ。

#### 8. Communication Management(コミュニケーション)

建設コンサルタントの必需品は、遅滞無く報告・連絡・相談出来るコミュニケーション力と知るべし。発注者との円滑なコミュニケーションは、テクリス高評価点の第一歩。

#### 9. Stakeholder Management(利害関係者)

業務のステークホルダーを漏らさず特定し、正の影響力は最大化、負の影響力は最小化もしくは回避する戦略を取り、ステークホルダー全員の満足度向上を図るべし。

#### 10. Integration Management(統合)

業務成果を、さすがプロのなせる技と社内外に認めさせるべし。そのために、上記個別マネジメントの実践とそれらの有機的統合化に励むべし。優れた成果の創出は、社会貢献の証なり。

注)マネジメントとは、個人の作業の枠を超えた目標を達成するためにグループの調整と調和を行う目的をもって、グループの構成員に指示を与え、コントロールする行為である。(PMI(Project Management Institute)のPMBOK(Project Management Body of Knowledge)参照)